

スプリンクラー設備用ポリエチレンパイプ

スプリンクラー設備配管にポリエチレンパイプの採用が可能となりました。
消防庁告示第19号に基づく（一財）日本消防設備安全センターによる登録認定を取得したことで
個別申請なしにアラーム弁以降の湿式スプリンクラー設備配管に使用出来ます。

■特徴

① 錆びない
金属とは異なり、樹脂製のため錆びの心配がなく、優れた耐食性がある。

② 軽量で施工が容易
金属管と比較して軽量であるため、天井での作業が容易となります。管体が柔軟なため、現場での切断も容易である
また、熟練不要なEF接合により、省人化や施工品質の向上にも繋がる。

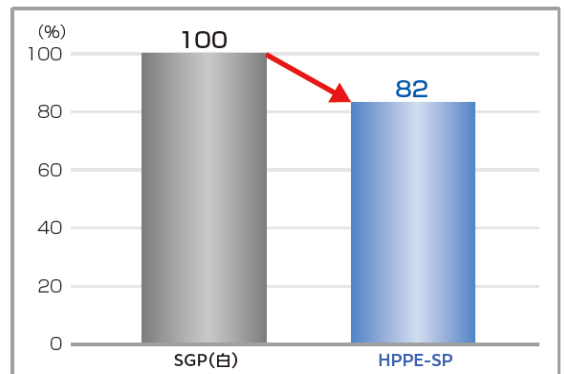
③ 施工時間を短縮
軽量で施工性に優れるため、金属管と比較して施工時間を短縮することが出来ます。

④ CO₂排出量が少ない
金属管と比較して製造時のCO₂排出量が少なく環境負荷の低い配管材です。

kg/m

| 呼び径 | SGP(白) | HPPE-SP | 重量比 |
|--------|--------|---------|--------|
| 40 | 3.9 | 0.8 | ▲79.4% |
| 50 | 5.3 | 1.3 | ▲75.5% |
| 75(80) | 8.8 | 2.2 | ▲75.0% |
| 100 | 12.2 | 4.2 | ▲65.6% |

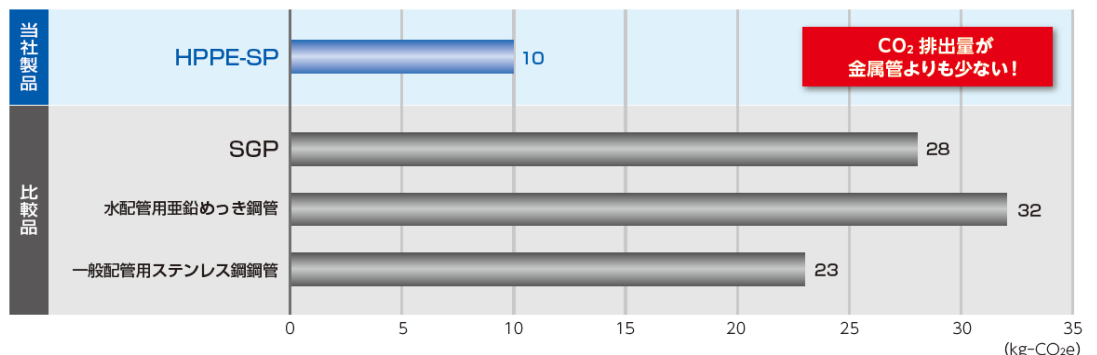
SGP(白)とHPPE-SPの施工時間比較
SGP(白)を100とした場合の比率



④ CO₂排出量が少ない

金属管と比較して製造時のCO₂排出量が少なく、環境負荷の低い配管材です。

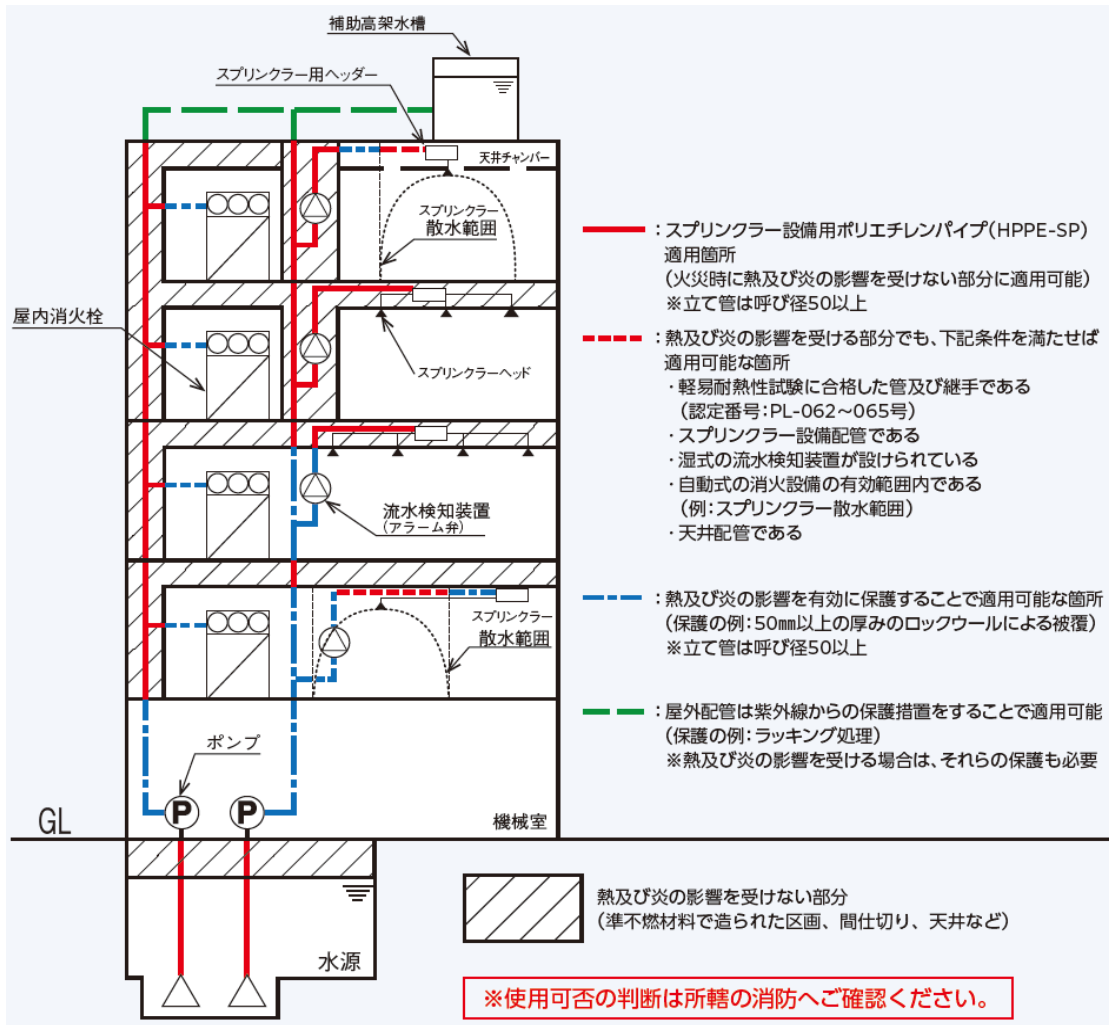
製造工程（原料調達～成形工程）における1m当たりのCO₂排出量評価（呼び径100）



※ 運搬・施工・使用・廃棄の工程は対象外

※ 比較品のCO₂排出量については、公表されている製品重量や産業技術総合研究所及びサステナブル経営推進機構【IDEA ver2】の影響評価計数(GHG排出原単位)より試算した参考値

■適用箇所



■登録認定の内容

| 呼び径 | 最高使用圧力 | 認定番号 | 型式番号 |
|-----|---------|---------|-----------|
| 40 | 1.0MPa | PL-065号 | KCPE-SP04 |
| 50 | 1.0MPa | PL-064号 | KCPE-SP03 |
| 75 | 1.25MPa | PL-062号 | KCPE-SP01 |
| 100 | 1.25MPa | PL-063号 | KCPE-SP02 |

※仕様などは「クボタケミックス」のHPより抜粋